



「すぐそこ新座観光あらかると」
歩いて地域を知る④
黒目の里を歩くパート2

9月号でもご案内した「黒目の里」ですが、今回は、前回ご案内した法台寺や板紙工場跡より、黒目川の少し下流を歩いてきましたので、ご案内します。

はじめに、畑中公民館から東に進み、荒沢不動尊を目指します。その途中、畑中公民館交差点には小さな供養塔が立っています。

荒沢不動尊で見られる不動明王立像には、屋根がなく、雨ざらしになっていますが、これは、まだ修行中のお不動様であるからと言われているそうです。また、前の通りは江戸往還道と呼ばれ、清瀬から江戸まで、農産物を出荷するための道として利用されてきました。途中に見た供養塔には道しるべとして「南・大山、西とくさわ」と刻まれていて、当時の往来の多さを感じさせます。

その後、東福寺に向かい、中世に作られた板碑を拜んできました。最後に妙音沢へと足を運び、平成26年に発見された「ミヨウオンサワハタザクラ」を見ながら、黒目川沿いを散策し、帰路につきました。

ここで妙音沢に伝わる伝説を紹介しましょう。昔、片山村がまだ10の村だった頃、そのうちの一つの十二天村(今の中央公民館付近)に目の不自由な子がいました。琵琶を弾くのが上手で、勉強もよくできる子で大人になると検校(けんぎょう)という役職につきました。念仏をよく唱え、法台寺の観智国師や弁財天を信仰していました。

20年以上が経ったある夜のことです。夢の中に美しい人が現れ、「明日、市場坂の下の沢で琵琶の弾き方を教えましょう。」と言われ、翌日、

問合せ
観光推進課
(☎048-477-1449)



▲荒沢不動尊

身を清めて沢のほとりで弁財天の名前を唱えていると、いつの間にか眠っていました。すると、眩しい光が輝き、岩の上に弁財天が現れ「あなたは日頃から信仰心が厚く、観智国師さまを敬っていることは感心なことです。」と言って弾き始めた琵琶の音色はとても美しく、この世のものとは思えぬほどでした。

このことがあってから、検校の琵琶の腕はますます上達し、その音色は弁財天のようだといわれました。その後、その沢のことを「妙なる音がする沢」妙音沢と呼ぶようになったそうです。

今月の本だ

地球は本当に丸いのか?
～身近に見つかる9つの証拠～

武田康男／文・写真 草思社



「地球が丸い」ことは、誰もが知っている科学的知識ですが、実感することはなかなか難しいと思います。本書は「地球は本当に丸いのか?」という素朴な疑問に、写真とイラストを使用し、地球が丸いからこそ起こる「目で見てわかる現象」を解説しています。読み終えたら、山や海、あるいはビルの展望台へ地球が丸い証拠を探しに行ってみてはいかがでしょうか。

※所蔵館などについては、中央図書館(☎048-481-1115)へ問合せください。

「ぶらり新座の旅」
参加者募集



郷土の文化や特産品を知る

▼日時／12月2日(土)、午前10時～午後3時(小雨決行)▼場所／集合IIふるさと新座館、解散II西分集会所付近▼対象／小学生以上の市内在住の方※小学生は保護者同伴乳幼児は参加不可▼定員／20名(多数の場合は抽選)▼内容／手打ちうどんづくり、みかん・野菜収穫体験※天候などの状況により変更の場合あり▼参加費／2千円(昼食代、保険料などを含む)※当日集金、同伴者も参加費が必要▼申込み・問合せ／11月13日(月)必着までにはがき又はファックス(048-477-1548)で、申込者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記載の上、観光推進課内産業観光協会事務局(〒352-8623 野火止1-1-1、☎048-477-1449)へ

野火止水ご当地グルメ・ゆるキャラ フェスティバル



▲昨年の様子

平成23年度に流域9市が調印した「野火止水水サミット」共同宣言に基づき、地域交流、各市PRのためのイベントを開催します。ご当地グルメや特産品の販売、キャラクターの出演、音楽演奏がお楽しみいただけますので、ぜひご来場ください。

▼日時／11月23日(木・祝)、午前10時～午後3時(雨天決行)▼場所／市役所本庁舎前市民広場▼問合せ／観光推進課(☎048-477-1449)

クイズ&アンケート

下記のクイズに正解して、アンケートにご協力頂いた皆さんの中から抽選で1名様にゾウキリンエコバックと提携店で使えるアトム通貨100馬力(100円商品券相当)を、4名様に粗品とアトム通貨100馬力をプレゼントします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。ぜひ広報にいざへのご意見・ご感想をお寄せください。



●クイズ 日常生活で不安などを抱えている方からの相談を受けるための警察相談専用電話の電話番号は? ※ヒント=2ページ

●アンケート ①今月号で良かった記事、②取り上げてほしい内容やコーナー、③そのほか広報にいざへのご意見・ご感想があればお聞かせください。



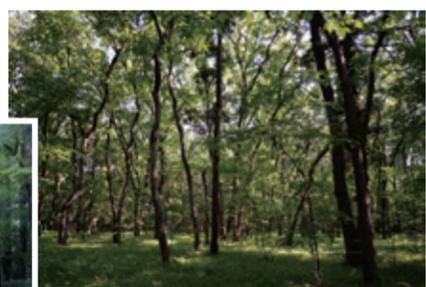
▶応募方法／①上記2次元コード又は市ホームページ「広報にいざ」のページから、各項目に入力して応募、又は②はがきに住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートを記入の上、市政情報課広報係(〒352-8623野火止1-1-1)までお送りください。※必ずクイズの答えとアンケートをご記入ください。また、応募は1人1通までとさせていただきます。

▶応募締切／11月25日(土)②は当日消印有効

人口と世帯

◎人口 165,471人 (男 82,825人 女 82,646人) (+122人 (男+47人、女+75人)) ※前月比
◎世帯数 73,622世帯(+101世帯)【10月1日現在】

平林寺境内林の保存管理



上:適切に管理された雑木林 左:大門通り沿いの倒木



平林寺境内林に代表される雑木林は、人が手を加えることで維持されてきた貴重な環境です。か

つての雑木林では、木を伐採して薪や炭とし、切株から出た芽を繰り返し育てることで、若く明るい林が保たれ、様々な動植物環境が育まれてきました。しかし、現在は生活様式の変化で伐採が行われなくなり、高木化や老木化が進み、雑木林特有の生態系も失われています。そこで、平林寺境内林では保存管理計画を策定し、雑木林の伐採を進めています。大門通り沿いの桜などの倒木が懸念されるため、安全上の整備伐採を行っています(本年度内に完了予定)。一時的な景観の変化が生じますが、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

▼問合せ／生涯学習スポーツ課(☎048-424-9616)又は平林寺公式サイト問合せフォームへ